

笑顔とがんばりのまち

おのまもち

議会だより

平成22年第4回定例会

- ◇国に5件の意見書を提出
- ◇福島県庁の県中地区への移転要望を決議
- ◇5人の議員が一般質問
(園庭芝生化・商店街活性化・生涯スポーツ・
中学校統合・人事行政など)

平成22年第4回臨時会

- ◇議会議員・町長等特別職・職員の給与を削減

平成23年第1回臨時会

- ◇給食運搬車購入を決定

平成23年第2回臨時会

- ◇公共事業を調査する特別委員会を設置



優しい光と木のあたたかいぬくもりにかこまれて

平成22年12月18日、改築中の小野中学校の一部が完成し、引き渡しを受けました。町産木材をふんだんに取り入れた教室には優しい光と木のぬくもりが満ちています(小野中学校1年4組)。

県庁の県中地域への移転を求める要望書を提出

現在、福島県庁は、施設の老朽化による安全性の問題から、改修か建替えかの議論がなされています。この機をとらえ、議会として協議をした結果「町や福島県のさらなる発展のためには、県庁を現在の県北地域ではなく、交通の要衝である県中央の県中地域へ移転すべき」との結論に達し、過日、三春町議会とともに福島県議会に対し、県庁移転の要望書を提出しました。



▲県庁移転の要望を提案する村上議員

議員提出議案 陳情を受け、議員提出議案により意見書を内閣総理大臣等に提出しました。

議案名	提出者	審査結果	提出先
TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)交渉参加に反対する意見書	会田隆寿 議員	全員賛成で可決	衆・参議院議長 内閣総理大臣ほか
患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書	村上昭正 議員	全員賛成で可決	衆・参議院議長 内閣総理大臣ほか
最低保障年金制度の制定を求める意見書	水野正廣 議員	全員賛成で可決	内閣総理大臣 厚生労働大臣
肺炎球菌ワクチンの公費助成に関する意見書	村上昭正 議員	全員賛成で可決	衆・参議院議長 内閣総理大臣ほか
後期高齢者医療制度の廃止と真に安心できる医療制度の確立を求める意見書	吉田鐵雄 議員	全員賛成で可決	内閣総理大臣 厚生労働大臣

意見書とは…

「地方公共団体の議会は、公益に関する事件につき意見書を国会又は関係行政庁に提出することができる(地方自治法第99条)」とされています。民意を国政などに反映する手段として議会で認められている権限です。

子宮頸がんワクチン・肺炎球菌ワクチンへの公費助成始まる

これまで議会で何度か提案してきたワクチン接種への公費助成について、小児・中学生高校生への全額公費助成が2月1日から開始されました。高齢者への肺炎球菌ワクチン助成は現在検討がされており、今後の推移を見守っていきます。



新型インフルエンザワクチン接種費用、たばこ播種機導入補助金など22年度予算を補正

12月補正予算は、右の表のとおり全員賛成で可決しました。

収入では、町税収入の見込みを4,253万円減額し、国からの普通交付税5,000万円の増額を計上しました。

支出では、昨シーズン猛威をふるった新型インフルエンザ対策に399万円、公立小野町地方総合病院への負担金として1,703万円を増額、たばこ播種機導入補助金74万円などを盛り込んだほか、人件費や合併処理浄化槽補助金などを減額する内容です。

国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険などの特別会計では、受給見込みを再計算し調整しました。

<平成22年度12月補正予算>

会計区分	補正額	予算総額
一般会計	1,683万円	42億2,659万円
国民健康保険	▲701万円	12億9,249万円
老人保健	補正なし	10万円
後期高齢者医療	143万円	1億77万円
介護保険	▲13万円	9億4,095万円
介護保険サービス事業	補正なし	338万円
文化・体育振興基金	補正なし	313万円
特別会計 水道事業	収益的収入	▲67万円
	収益的支出	147万円
	資本的収入	補正なし
	資本的支出	▲128万円
		9,060万円

第4回定例会

12月9日～14日

平成22年第4回定例会は、12月9日から14日までの6日間の会期で開かれました。会議では、平成22年度補正予算や条例の制定案件、議員提出議案など19議案を原案のとおり可決しました。

また、5名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをいただきました。



▲最終日、閉会のあいさつを述べる大和田議長

新しい給食センターの稼働に向けて管理体制を整備 (小野町給食センター条例)

町では、教育環境の整備として小学校の耐震工事業や、小野中学校の建設を進めています。給食についても今般、新しい給食センターを建設し、二つの共同調理場を統合することとなりました。新しい給食センターは、小野中学校の敷地内に建設されます。町内の全小中学校の給食を調理します。二日の調理数は約1000食分。稼働は、当初四月を予定していましたが、諸般の事情により若干遅れる見込みです。

〈全員賛成で可決〉

緑とのふれあいの森公園の管理者に(株)日本全薬工業を指定

日影山南麓の緑とのふれあいの森公園の指定管理者に(株)日本全薬工業が指定されました。指定期間は、平成二十三年四月から五年間です。

〈全員賛成で可決〉

指定管理者制度とは…

行政機関が設置した施設(公の施設)の管理運営を、議会の議決により民間企業等の団体に委託し運営してもらう制度です。民間企業などの経営手法が取り入れられ、施設の有効活用が期待できます。



▲日影南麓ふれあいの森公園

陳情の審査結果

第4回定例会では、6件の陳情を審査しました。結果は次のとおりです。

件名	陳情者	審査結果
患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書採択に関する陳情	福島県保険医協会 理事長：酒井 学	全員賛成で採択
肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情	福島県保険医協会 理事長：酒井 学	全員賛成で採択
TPPの参加に反対する陳情	郡山地方農民連 会長：宗像 孝	全員賛成で採択
最低保障年金制度の制定を求める意見書の採択を求める陳情	全日本年金者組合福島県本部 執行委員長：松本春夫 田村支部長：佐藤一正	全員賛成で採択
後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の提出を求める陳情	全日本年金者組合福島県本部 執行委員長：松本春夫 田村支部長：佐藤一正	全員賛成で採択
TPP交渉参加反対に関する陳情	たむら農業協同組合 代表理事組合長：安藤善凱	全員賛成で採択

第4回定例会 一般質問

久野峻議員、石戸浩議員、宇佐見留男議員、水野正廣議員、国分喜正議員が町政各般について質問を行いました。
ここに掲載しているものは内容を要約したものです。ホームページには全文を掲載しますので、
こちらをご覧ください(会議録確定後ですので若干遅れて掲載されます)。



久野峻 議員

教育行政について

幼保一元化急ぐべき

問 小野町教育環境の基本方針によると、幼稚園、保育所及び児童園等幼児教育施設について、二元的に提供できる幼保連携施設として新たな総合施設を平成二十一年度完了を目標に建設整備すると明記されている。計画に遅れも出てきている中、子供を産み育てやすい環境を提供することを早急にすべきと考えるが、
用地選定を行いながら早急に整備

町長 国の動向も含め、施設の規模やサービスの内容など、改めて保護者、子育て世代の要望を取りまとめることや建設用地の選定を検討し、施設整備の

早期実現を図る考えです。

幼児施設の芝生化に取り組みべき

問 幼児施設の芝生化が全国はもとより県内でも広まってきている。平成二十二年七月に総務文教常任委員会先進地の視察



▲芝生化された園庭でのびのび(鳥取県)

を行ったが、メリットが非常に大きいことを確認した。教育現場での効果が十分に期待されるこの事業に早急かつ積極的に取り組むべきと思うが、
有意義と考えるが、実施には気象条件など検証

町長 大変有意義であると考えています。町の気象状況が芝生の生育状況に及ぼす影響や維持管理方法など検証し、試行的な取り組みが可能かどうか検討をしていきます。また、担当部署には補助事業の活用や予算の検討を指示します。

小学校の英語授業への対応は？

問 平成二十三年四月から小学校五年、六年生の授業で外国語活動、英語が必修となる。英語教育を教えた経験のない教員も多く、課題も多いと思われるが、どう対応するのか。
教育長 教育委員会では、平成二十一年度から外国語指導助手をすべての小学校に派遣し、小学校教員とのチームティーチングによる外国語活動の充実と小学校教員の指導力向上に努めています。

米農家支援について

米の値下がり

稲作農家への支援策は？

問 本年の水稲作柄は、作況指数からするとやや良とのことだが、夏の猛暑による品質の低下などで米価が大幅に下落している。農業共済の補てんもあるが、町として、稲作農家に対する当面の経営状況の改善、次年度以降の生産への意欲の喚起に向けた
町長 米生産農家への有効な支援策について県、近隣市町村の動向を注視しつつ、農家が来年の生産に向け意欲が持てるよう検討をしていきたいと考えています。

中心市街地活性化について

商店街の具体的将来像は？

問 中心市街地の活性化は、第四次小野町振興計画に「歩いて暮らせるまちづくり」を念頭に町中心部の

教員の指導力向上に努めている

成をします。」とあるが、具体的な将来像は、
新たな「まちづくり指針」で検討する

町長 活性化のため、公園、駐車場など公益的な施設の整備に加え、商業施設、医療機関、文化施設、娯楽施設、教育施設な

副町長の人選について

副町長空席が続いているが？

問 平成二十二年三月二十一日付をもって退任した伊藤副町長の後任人事がされていない。町長の右腕となる副町長の人事についてどのよう

福島県からの派遣人事調整中

町長 最適任者を選任すべく検討してきましたが、現在まで空席となっております。これまで業務の停滞は生じておりませんが、より円滑に町政執行が進展するよう、具体的に副町長人事を進める考



▲県からの派遣調整がされている副町長の席

どがある一定の範囲に集中し、連携することが重要だと思います。これを踏まえ、目指すべき将来像については、今後新たなまちづくりの指針を作成する予定ですので、その中で検討を行っていきます。

そのようなことから、四月一日選任を念頭に福島県人事課と派遣人事を調整中です。前任の伊藤副町長、松崎副町長同様、すばらしい方が推薦されるものと期待しています。

総務文教常任委員会

委員長 久野峻

浮金小学校の授業を参観

小野町議会総務文教常任委員会の現地調査で十二月十四日、三年生、四年生の電子黒板やパソコンを活用した授業を拝見させていただきました。

チラシの作成や調べ物・発表などの際に、児童全員がそれぞれの機器・機能を使いこなしており、急速に高度化・多様化している情報通信技術に柔軟に対応できる知識や技能が着実に身につけている様子が伺われ、校長先生をはじめ諸先生方のご指導の賜物と実感いたしました。情報通信技術は、今後ますます進展し、それに伴う人材育成が更に重要になると思われますので、これまで同様のご指導をお願いいたします。

今回、授業参観日という貴重な時間に授業を拝見させていただきました。保護者の皆さんや学校関係の皆様にお世話になりました。紙上より厚く御礼申し上げます。



▲ICTの強み。先生手作りの視覚に訴える教材で「今」を学ぶ

議会を傍聴しましょう。

傍聴手続きは簡単…住所・氏名を記入するだけ。
次の議会は3月上旬招集予定

お問い合わせは事務局まで

☎ 72-6930



商店街の活性化対策について

商店街の活性化をどうするか？

問 町の商店街では買い物人口の減少、後継者不足が顕在化し、悩みが深刻。経営努力や町の支援にも限界があると思うが、商店街の活性化についてどのように考えているのか。

町長 関係者と連携
必要施策は
速やかに実施

町長 町ではこれまで、商工関係団体への助成、プレミアム商品券発行に対する補助などを継続して実施してきましたが、抜本的な解決策には至っていません。引き続き商工会

など関係機関と連携を密にするとともに、商店街の皆様のご意見を聞きながら必要な施策を実施したいと考えています。

町営駐車場を整備しては？

問 町の商店街では現実問題として駐車場がなくて困っている。空き店舗を活用して例えば2階建てくらいの町営駐車場をつくってはどうか。

意見として参考にごさせていただけますか？

町長 商店街利用者のため町内の町有地の駐車場利用を進めていますが、ご提案についても参考にさせていただきます。

法務局跡地を公園に

問 法務局跡地を全面芝生化し、現在の中央児童公園とつないで一体化して、例えばイベント広場としても活用できるようなポケットパーク、ミニ公園をつくってはどうかと考えるが。

意見を聞きながら、利活用を検討

町長 法務局跡地は、財務省に無償譲与の申請を行い、十月二十九日に町に

譲与されました。

中心市街地における公園整備は、多くの町民から要望が寄せられています。町民の憩いの場づくりや災害発生時の避難場所確保など、安全・安心のまちづくりを進める上でも重要と認識しています。今後、多くの方々から

意見をいただきながら、中心市街地の活性化につながるような利活用策を見出していきたいと考えています。



▲中央児童公園と法務局跡地を一体整備しては？(荒町中央児童公園)

商工会の新規事業への支援を期待したいが

問 町の商工会では、来年度の新規事業としてスポーツと食と文化、この三つをキーワードにイベントなどを通して商店街での人の往来を活性化にして町なかのにぎわいを創出できないか、と検討を始めたそうであります。これに行政の積極的な支援を期待したいが。

商工会と連携し、必要な対策を講じたい。

町長 商工会が中心となって、自ら町なかのにぎわい創出のため、新事業を実施することは素晴らしいと思います。商店街活性化のため連携協力し、必要な対策を講じていきます。

中心市街地活性化計画の見直し

問 振興計画には、小野町中心市街地活性化計画の見直し盛り込まれて

いる。計画策定に当たっての取り組み方、スケジュールはどのようになっているか。

現状を踏まえ速やかに取り組む

町長 策定に当たっては、右支夏井川の河川改修事業なども踏まえ、現状の把握などを十分に行った上で、できるだけ早く取り組みたいと考えています。

生徒の夜の帰宅防犯指導は？

問 商店街の裏通り、右支夏井川の堤防は中学生の通学路として利用されている。日が短くなると、部活などで帰りの遅くなる生徒の顔がわからなくなるほど暗くなる。防犯上の対策が必要と思うが、学校では懐中電灯を持たせるなどの指導を行っているのか。

下校時の防犯指導をしている

教育長 現在のところ学校において生徒に懐中

特産品開発事業の進捗について

問 特産品開発事業の進捗状況は？

勉強会・試作品作り・コンテスト

町長 平成二十一年度から三十九年の事業として、

商工会に委託し実施しています。商工会では嘱託職員名を採用し、検討機関として商工会の会員、町職員、農業者、学識経験者等で構成する地域資源開発委員会を組織し、新商品開発の検討や試作品の製造、直売所等の販売方法についての検討を行っています。

二十三年度で完了させる予定

町長 予定通り二十三年度に完了させる考えです。新商品の開発からブランド化までには、長い

これまで、ヒット商品の開発者、大学教授等を招いての勉強会の開催や町内産のニンニクを使ったラーメン、小野町で栽培されたチャヤマメ、クウシンサイ、ナツハゼを使ったアイスクリームの製造、八重桜を使用したリキュールの開発などに取り組ん



▲特産品開発の一つの試み。「一升漬コンテスト」表彰の様子(小野ふれあいフェスタ)

戦没者に対する慰霊追悼式について

戦没者追悼式

町の主催で行う考えは？

問 戦没者の追悼式は、行政の簡素化や効率化という次元では判断できないと思う。国・県の例を挙げてもなく、町の主催で行ってもよいと思うが。

町主催による実施を検討している

町長 町では、小野町遺族会主催により毎年実施されています。先の大戦が

ら六十五年が経過し、遺族会も年々高齢化し、会員数も減少してきています。今後の運営については、町主催を念頭に検討を進めています。

健康福祉課長

県内五十九市町村中、市町村主催が四十三市町村、町村会主催が六市町村、遺族会主催が四市町村、また、実施していない市町村が六市町村です。

誘致企業に対する行政支援について

電灯を携帯させる指導は行っておりませんが、下校に際しては、集団あるいは複数で街路灯や防犯灯が

設置されている明るい道を通って帰宅するように指導を行っています。

問 誘致企業に従業員として勤務している町民は何名か？

アンケート実施予定

町長 誘致企業を含めた町内の就労状態の把握は重要と考えています。状態については今後アンケート調査を実施する予定ですので、その後結果をお知らせします。

問 誘致企業を

ために訪問し意見を聞くことが大切と思うが、現状の取り組みは？

町長 企業訪問
実施している
今後も継続する

誘致企業との向き合うスタンスは？

問 誘致企業に町民がお世話になっているという観点に立ったとき、これら誘致企業と向き合う町の基本的なスタンスをどう考えているか。

積極的に応援する

町長 企業の発展は、雇用環境の充実、地域経済発展の源ですので、これからも積極的に応援していきます。

問 町の主導で企業懇談会を設けては？

他の自治体の例があり、町も取り組みたい。

町長 企業の方々一堂に集まって、意見交換をすることは大変重要と考えます。町としても取り組みたいと思います。



稲作農家への支援について

昨年の猛暑

稲作農家への支援策は？

問 昨年の猛暑で米価が大幅に下落している。近隣町村では稲作農家への支援が始まっているが、どう考えるか。

支援策を検討する

町長 農業を取り巻く環境が大変厳しいと認識しています。今後は他の自治体の動向を注視しながら、支援策を検討していきます。

生涯スポーツの推進について

健康ウォーク大会とこまちダムまつりの同時開催は？

健康ウォーク大会とこまちダムまつりの同時開催は？

問 町民の方々よりこまちダムまつりと同時開催はできないかとの意見をいただきました。町長の考えは。

同時開催は難しい

町長 ダムまつりに関しては、国土交通省が毎年七月二十日から二十一

日までを森と湖に親しむ旬間と定めていて、この時期での開催となっております。一方、マラソンやウォーク大会については、参加者の健康面なども考慮すると、猛暑時を避けての開催が望まれることなどから、当面、本年度の開催時期を念頭に実施日を定めさせていただきます。

雇用促進対策について

高校生の就職状況は？

問 ①当町の高校生の就職状況はどのようになっているのか、②現在、就職内定が決まっていない高校生の就職先を町の企業等が受け入れる用意があるのか、③また、町として会社に出向き、雇用の働きかけをする考えがあるのか。

県平均を上回っている

町長 ①現時点での就職内定率推計値は、県の十月時点での内定率を

十・六ポイント上回る六十二・七％です。なお、県立小野高等学校においては、積極的な就職指導の成果により、全体として七十％を超えた内定状況にあると聞いています。

②地元企業においては、厳しい経済情勢の中で、地元小野高校に対する求人企業等は昨年を三社上回る九社と聞いています。

③雇用の働きかけ等は、町でも引き続き実施していきます。



▲第1回健康ウォーキング・マラソン大会(こまちダム)

公共交通網の整備対策について

循環バスの今後は？

問 平成二十二年九月、十月、十一月の三カ月間にわたり循環バスの試験運行がされた。試験運行結果を今後どのように活用するのか。

試験運行結果を分析し検討する

町長 試験運行の結果については、現在アンケート

結果等の取りまとめを行っています。今後、調査結果を分析し、運行ルート、運行頻度などの検討を行い、町なか活性化にも配慮した社会的実験を行い、小野町にふさわしい新公共交通システムの構築に引き続き取り組んでいきます。



▲昨年試験的に運行した巡回バス。現在(2月~3月)も第2回の試験運行を行っています。



中学校統合について

問 中学校統合

現在までの取り組みと今後の見通しは？

地域の方と話し合いを行っている

町長 中学校の統合は、計画では小野中学校の新校舎整備の完了にあわせて実施することを目標としています。間もなく小野中学校も完成する予定ですので、教育委員会には地区の方々と合意形成を図るようお願いをしています。

問 本町で、小野中完成時に間に合うのか？

教育長 計画どおりとなるよう話し合いを続けます。

教育長 今年度、教育委員会として、受金中学校の保護者の皆様や地域



▲昨年、一部引き渡しを受けた小野中学校の教室

幼・保教育について

認定こども園に関する取り組みは？

問 笑顔とがんばり行草大綱町民アンケート集計の結果にあるとおり、保育施設の充実が多く町の民から求められている。早急に整備する必要があると考えるか。

要望踏まえ

早期実現を図る

町長 認定こども園については、これまでの検討に

加え、国の新たな動きなども踏まえながら、保護者、子育て世代の具体的な意向、要望の取りまとめ、建設用地の選定などを検討しながら、早期実現を図っていく考えです。

問 検討委員会を設置する考えは？

町長 意見集約組織を作りたい

廃校利用について

廃校利用の検討状況は？

問 前の定例会での町長の答弁に、廃校利用については地元町民との意見を参考に検討することだったが、その後の経過は？今後の見通しは？

地元の意見を聞いています

町長 今年度は、雁股田、小戸神、塩庭二区、上羽出庭、和名田の関係行政区長



▲速やかな再利用が望まれる(旧夏井第二小学校)

議会とは 第5回 議決権とその予算

予算は、小野町の毎年度の収入と支出の見積計算書です。それと同時に町民に対するサービスの計画書となります。また、町の将来にわたっての財政負担に関する取り決めでもあります。

予算は、町民の納めた税金の使い道を定めるものなので、町民代表の議会の議決をもって確定します。当初予算に限らず、年度途中での予算の補正も、への議会の議決を経なければなりません。

1 町にはどんな会計があるの？

大きく分けると、「一般行政に関する」「一般会計」と国民健康保険や介護保険、水道事業などの運営を行う「特別会計」の二つに分類されます。特別会計は七つあり、「一般会計と合わせると全部で八つの会計」といことになります。

(P.7)参照

2 町の収入にはどんなものがあるの？

住民税や固定資産税などの町税や、県からの支出金、町の借金である町債、地方交付税などがあります。このうち、町の自主財源は二十％弱です。つまり、町の全収入の七十％以上が国県などに依存していることになります。

3 予算は何に使われているの？

学校の建設維持、社会福祉、戸籍、選挙、消防衛生、保健、道路河川の建設維持などの身近な行政サービスや職員人件費などに使われます。特別会計は会計の目的のみ使用されます。



▲町の予算書。八つの会計の収入・支出予定が書かれている



逆トライアングル ハイウェイ構想について

あぶくま高原道路の 開通時期は？

問 あぶくま高原道路の
①本年度中に開通との報
道は正確なのか。②工事
の進捗状況はどうか。③
料金はどのようになるのか。

全線開通は 平成二十三年三月

町長 ①平成二十三年三
月には全線の開通式を予
定していると考えていま
す。②進捗は、全線二十五
九キロメートルのうち、全
体の八十八%となってい
ます。③料金については、現
在有料区間となっている
矢吹中央インターから玉
川インターまでの通行料
金については、主要地方道

重要な道路と考える 引き続き実現に向け要望

町長 逆トライは、相
双地域との交流を促進す
るため大変重要な道路と
思っています。

なお、現在、福島空港
アクセス道路建設促進
期成同盟会を結成し、
構成市町村一丸となって
小野インターから常磐
自動車道富岡インター
周辺に接続する高規格
道路を早急に整備促進
するよう積極的に県当
局に対し要望活動を
行っています。県当局の
説明では、高規格道路



▲3月に全線開通予定のあぶくま高原道路

特別職の報酬について

特別職の 報酬カットをしている 団体は？

総務課長 福島県中
管内十二自治体で町長の
報酬等を削減している自
治体は九自治体、うち三
十%削減が小野町を含め
て二団体です。

特別職の報酬削減 その理由は何ですか？

問 特別職の報酬削減に
関して、町の財政状況は
削減を戻せないような厳
しい状態なのか、あるいは
町長の強い意志で削減を
実施しているのか。また、
副町長・教育長の報酬を町
長とは別に検討する考え
はないか。

人事行政について

職員の休暇 取得状況について

町長 広報おのまち十一月号
に掲載されていた職員の年
次休暇取得状況について、
町長の認識は？

休暇制度の目的のため 効果的に取得すべき

町長 年次有給休暇は、職
員の疲労回復、健康の維持増
進その他福祉向上を図る目
的で行われる制度で、積極
的かつ効果的に活用すべ
き制度と考えています。効果
的に取得できるよう、職場環
境や業務遂行の改善を引き
続き図っていきます。

休暇取得率を 上げるには？

問 休暇の取得率が他の自
治体に比べ少ないと思うが、

取得率の向上のためどのよ
うなことを考えるか？

取得しやすい 環境づくりを構築

町長 年次有給休暇を
取得しやすい環境にする
ためには、業務の効率化
や応援体制の確立などが
必要です。職員が生き生
きと職務に傾注できる業
務環境を積極的に構築し
ていきたいと思います。



▲能率向上のため適切な休暇取得を図っては？

◆地域医療調査特別委員会活動報告

委員長 遠藤 英信 調査先 公立小野町地方総合病院

去る十一月二十五日、
公立小野町地方総合病
院を訪問しました。

当病院は本年四月よ
り地方公営企業法の全
部が適用となり、従来
の組合組織から企業団
組織へと体系を変更し
運営しており、今回は
現況と今後の方向性を
確認するため、視察調
査を実施しました。

現況として患者数
は、入院は増加傾向、外
来は減少傾向にありま
す。病床数は、一般病床
を減床し、療養病床を
増床させており、約九
十パーセントを超える
利用率となっています。

収益的収支は、職員
の給与カットや、給食業
務の外部委託等による
人件費の削減により、

平成十八年度から四年
連続の黒字決算を計上
しています。

民間医療機関との連
携については、郡山市等
の基幹病院への紹介が
昨年と比べ増加傾向に
あります。また、介護部
門との連携については、
町内や町外近隣の介護
関係施設に対して、診
療時間外患者の受け入
れを対応してお

り、医師や理学
療法士の定期
派遣も実施し
ています。

また、今年度
は皮膚科診療
を開始し、順
次、最新検査機
器に更新してい
ます。

夜間・休日の



▲経営改革が進む公立総合病院

外来対応については、地
域住民から多く望まれ
ていますが、基本的に常
勤医師が不足している
状態であることから、
対応が困難となってい
ます。

一月から新たに二名の
常勤医師が加わり、外
科が二月以降は週四日受
診が可能となるなど、
日々、来院する患者の
負担軽減に努め、病気の
早期発見・早期治療
に力を注いでいる内容
が今回の調査で改めて
確認できました。

◆教育環境対策特別委員会活動報告

委員長 會田 隆壽 調査先 秋田県横手市・仙北市

去る十月二十七・二十
八日の二日間にわたり、
閉校となった校舎など
を学校施設以外に活用
している、秋田県横手市
並びに仙北市を訪問し
ました。

横手市では多雪地域
であることから、冬期
でも土の上でスポー
ツができる施設、またゴ
ルフの練習ができる施
設を、という地域住民
の要望から体育館を屋
内体育施設として改修
し、「ゴルフや降雪期の屋
外スポーツ愛好者に利
用されていました。

仙北市では、地域住
民の方々から福祉的な
活用が要望され、また
保育環境の整備や介護
保険制度導入に向けた
施設整備も必要であっ

民からの要望等を踏ま
え、施設の整備や運営
を行っています。維持
管理経費やその他の少
子化に伴う廃校施設の
利活用方法について、
様々な問題を抱える実
態がうかがえ、今後の
当町での廃校施設の民
間活力の導入も含めた
利活用の検討に向け、
大いに参考となる調査
となりました。



▲学校体育館をゴルフ練習もできる施設に改造(秋田県横手市)

議会活動日誌

11月
November

- 3日 町少年野球スポ少15周年記念大会開会式
丘灯至夫記念館リニューアルオープン記念式典
丘灯至夫メモリアルコンサート
- 6日〜7日 こまちふれあいフェスタ
- 6日 農産物品評会表彰式
ふるさと小野町会懇談会
- 9日 緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練視察
- 10日 老人クラブ連合会長杯グラウンドゴルフ大会
- 12日 第3回地方自治研修交流セミナー
- 13日 田舎暮らし体験ツアー



▲緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練を視察(郡山市)

- 15日 月例全員協議会
議会広報編集委員会
ふくしま駅伝壮行会
- 17日 第54回町村議会議長会全国大会(NHKホール)
第1回田村地方交通安全大会
- 21日 ふくしま駅伝
- 22日 小野・富岡線改良整備促進期成同盟会要望活動(福島県庁)
- 23日 55周年記念功労者表彰式
- 24日 永年勤続職員表彰式
- 25日 議会運営委員会
議会全員協議会
第4回臨時会
- 26日 地域医療調査特別委員会行政調査(公立小野町地方総合病院)
- 26日〜30日 平成22年度定期監査
- 29日 郡山広域消防組合議会運営委員会
郡山広域消防組合議会
- 3日 老人作品展表彰式
- 6日 議会運営委員会
議会全員協議会
企業対策特別委員会
小野町石材組合設立30周年記念式典
- 9日〜14日 第4回定例会

12月
December

- 12日 第27回小野町長杯武道大会
- 17日 全員協議会
- 19日 第1回小野ロータリークラブ杯高校生バドミントン大会
- 20日 県議会への要望書提出(福島県庁)
- 21日 平成22年産葉たばこ販売状況視察
全員協議会
議会改革特別委員会
- 24日 公立小野町地方総合病院企業団定例会
- 28日 定期監査講評
例月出納検査
- 1日 新年交礼会
- 4日 新年交礼会
- 6日 消防出初式
年始知事懇談会(知事公館)
- 7日 新年交通安全祈願祭
- 9日 成人式



▲平成22年産葉たばこ販売状況を視察(須賀川市)

- 13日 月例全員協議会
第4回地方自治交流セミナー
- 14日 小泉武夫氏との懇談会
- 15日 「夕焼け小焼けで陽が昇る」原画展オープニングセレモニー
「夕焼け小焼けで陽が昇る」トークショー
- 16日 建築家具組合総会
- 18日 議会運営委員会
議会全員協議会
第1回臨時会
- 19日 田村地方町村議会議長会
田村地方市町議会議長会
- 20日 教育関係者新年会
- 27日 議会運営委員会
議会全員協議会
第2回臨時会
- 28日 例月出納検査
公共事業に関する特別委員会
民生委員協議会新年会
- 29日 第7回田村りぶるの会総会



▲地方議会のあり方を研修(三春町)

平成22年 第4回臨時会 11月25日

議会議員・町長等特別職・職員の給与を引き下げ

平成22年第4回臨時会は、11月25日に招集されました。
会議では、今年度の福島県人事委員会勧告に基づく議会議員・町長等特別職・職員の給与引き下げが審査され、原案のとおり可決されました。
主な内容は、議会議員・町長等特別職の期末手当を年0.15月分引き下げ、年2.9月分とし、職員も期末勤労手当を0.15月分引き下げ、年3.9月分とするものです。

〈町長等特別職の引き下げは全員賛成で可決。議会議員・職員の引き下げは賛成12・反対1で可決〉

平成23年 第1回臨時会 1月18日

給食運搬車購入・一般廃棄物最終処分場の賃貸借契約の延長が決定

平成23年第1回臨時会は、1月18日に招集されました。
会議では、補正予算が町長から提案されました。国から地域活性化交付金が交付されるのを受け、道路整備費や公営住宅修繕工事費などを増額するものです。また、給食センターを統合することから、新たに給食運搬車2台を購入する契約が決定されました。そのほか、大字南田原井地内の一般廃棄物最終処分場土地の貸し付け期間延長(3年間)が決定されました。最終処分場は、平成23年3月で埋め立てが完了します。その後、福島県の管理基準により覆土・緑化工事がされる予定です。

〈全員賛成で可決〉

平成23年 第2回臨時会 1月27日

公共事業を調査する特別委員会を設置しました

平成23年第2回臨時会は、1月27日に招集されました。
会議では、株式会社トリアスの民事再生法手続き開始決定に伴い、町発注工事の進捗に影響が懸念されることから、今後の対応を検討するため特別委員会設置が議決されました。
議決後直ちに、最初の特別委員会が招集され、株式会社トリアスの秋田社長、同社の吉田小野支社長の出席のもと、民事再生手続きや町発注工事の今後の予定について説明を受けました。

町で当該会社に発注し、まだ完了していない工事は、小野中学校改築工事、小野新町小学校の耐震化工事、役場庁舎の改修工事などがあります。秋田社長の説明では、それぞれの工事に若干の遅れは出るものの、完了に向け努力することでした。一部の工事は1月24日から再開されています。

〈全員賛成で可決〉



▲トリアス秋田社長・吉田支社長が民事再生手続き等について説明

笑顔でがんばってます!

このページでは、笑顔でがんばる町民のみなさんを紹介します。今回は、「マドリガルコーラス」を紹介します。インタビューには会長の鈴木レイさん、事務局の大楽京子さんが応えてくれました。

マドリガルコーラスの発足経緯は?

昭和49年、ピアノ伴奏によるしっかりした合唱をしようと、男性4名、女性3名の混声合唱団として発足しました。ピアノがないと練習ができないので、発足当初は練習場所を確保するのが大変でした。ピアノがある会員の自宅で練習したこともありました。

現在はどのような活動をしていますか?

町のスプリングフェスティバルやたむら合唱祭などで練習の成果を披露しています。このほか、町の依頼で様々な行事・施設でも歌うことがあります。

合唱の魅力は?

メンバー一体となったハーモニーが魅力です。練習の大変さも忘れてしまいます。



▲平成22年第13回たむら合唱祭。郡山市の男声合唱団と共演



▲丘灯至夫先生を偲んでのコンサートに出演

今後の活動、夢は?

昨年、郡山市での音楽祭に参加してモーツァルトのレクイエムを演奏しました。40分を超える大曲でしたが演奏の充実感は大変なものでした。今後も難曲・大曲に挑みたいと思います。

最後にひとこと

昨年、指揮者の先生がお亡くなりになり、新しい指揮者の先生をお迎えして女声コーラスとして活動を始めました。メンバーは26名で、週1回楽しく練習しています。80歳代の方もいらっしゃいますが、大変生き生きとしています。歌うのが好きな方の入会はいつでも大歓迎です。私たちと歌う喜びを感じ、共にハーモニーを奏しましょう。

(インタビューは、議会広報編集委員会が行いました。)

•あ•と•が•き•

今年 は花粉の飛散量が 昨年 の十倍以上との 予測 があり、議会 だより の届くころ は花粉 症に 悩まされる 方が 多かろう と存じます。今 任期 における 私たち 広報 編集 委員 一同 の活動 も 早 四年 目を むかえ ました。皆 様に 愛読 される よう 良い 紙面 づくりに 努力 して おります が、ご 意見 など ございましたら 遠慮 なさらずに お寄せ ください。寒 さや 経済 の厳しさ の向こう から 花 だより や まだら 模様 の景 気 回復 が 聞こえて きます。皆 々 様 には 健康 で 笑顔 の 兎年 と なります よう。

議会広報編集委員
國分喜正



この印刷物は、FSCの基準に従って 認証された適切に管理された森からの 木材を含んだ用紙で印刷されています。